学校番号	T3015

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合（通信）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の地理総合　（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）						
副教材等	自主製作プリント						

担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理は地図を読むここがとても重要。地形や気候という自然環境のもと、多様な地域が形成されている。各地域を地図上で理解することが重要です。

２　学習の到達目標

社会の地理的な課題を地域性、歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代社会の地理的認識を養う。 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理的事象や地域性についての基礎的知識や基本的概念を理解している。さらに地図から諸課題を読み取ることができる。また、地図や統計を必要に応じて活用できる。	地図化したことを他の地理的諸事象との関わりから思考・判断して、表現できる。	地理的諸事象に関心を持ち、それらと自分自身を結びつける意欲と態度をもつ。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地図とGISの活用	・球面上の世界 ・世界からみた日本の位置と領域・領土 ・国内や国家間の結びつき ・暮らしのなかの地図とGIS	a:地図とGIS、日本の領域・領土についての基礎的知識や基本的概念を理解している。さらに地図と GIS を必要に応じて活用できる。 b:地図と GIS を活用するとともに地理的事象とのかかわりから思考・判断し、表現できる。 c:地理的事象に関心を持ち、それと自分自身を結びつける意欲と態度を持つ。	小テスト 定期考査	ワークシート・定期考査	授業内観察・口頭発表・ワークシート
	地理的環境の特色	・地形と生活文化 ・気候と生活文化 ・産業と生活文化 ・宗教・言語と生活文化	a:地理的事象や地域性についての基礎的知識や基本的概念を理解している。さらに地図や統計から諸課題を読み取ることができる。 b:地図や統計を活用し、地理的事象とのかかわりから思考・判断し、表現できる。 c:地理的環境の特色に関心を持ち、それと自分自身を結びつける意欲と態度を持つ。	小テスト 定期考査	ワークシート・定期考査	授業内観察・口頭発表・ワークシート
	世界各地の生活文化	・経済発展と生活文化の変化 ・宗教の多様性と生活文化 ・水の恵みと生活文化 ・イスラーム社会の多様性と生活文化 ・多様な気候と生活文化 ・経済統合による生活文化の変化 ・寒冷な気候と生活文化 ・グローバル化による生活文化の変化 ・土地の開発による生活文化の変化 ・植民と移民による生活文化の形成	a:世界各地の生活文化についての基礎的知識や基本的概念を理解している。さらに地図や統計から諸課題を読み取ることができる。 b:地図や統計を活用し、地理的事象とのかかわりから思考・判断し、表現できる。 c:世界各地の生活文化に関心を持ち、それと自分自身を結びつける意欲と態度を持つ。	小テスト 定期考査	ワークシート・定期考査	授業内観察・口頭発表・ワークシート

後期	地球的課題と国際協力	・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口・食糧問題 ・居住・都市問題	a:地球的課題と国際協力についての基礎的知識や基本的概念を理解している。さらに地図や統計から諸課題を読み取ることができる。また、地図や統計を必要に応じて活用できる。 b:地図や統計を活用し、地理的事象とのかかわりから思考・判断し、表現できる。 c:地球的課題と国際協力に関心を持ち、それと自分自身を結びつける意欲と態度を持つ。	小テスト 定期考査	ワークシート・定期考査	授業内観察・口頭発表・ワークシート
	生活圏の諸課題	・日本の自然環境と防災 ・生活圏の諸課題と地域調査	a:生活圏の諸課題についての基礎的知識や基本的概念を理解している。さらに地図や統計から諸課題を読み取ることができる。また、地図や統計を必要に応じて活用できる。 b:地図や統計を活用し、地理的事象とのかかわりから思考・判断し、表現できる。 c:生活圏の諸課題に関心を持ち、それと自分自身を結びつける意欲と態度を持つ。	小テスト 定期考査	ワークシート・定期考査	授業内観察・口頭発表・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度